

1 会社概要

商号	株式会社ナンゴ	業種	製造業
所在地	京都府宇治市白川川上り谷80番地36		
設立	創業1973年11月	資本金	1,000万円
代表者	南郷 真	従業員数	15名
事業内容	金属全般部品の精密機械加工、治具・省力化機械の設計製作		
URL	http://www.nango-kyoto.co.jp	e-mail	office@nango-kyoto.co.jp

2 事業継続計画の概要

対象事業	金属全般部品の精密機械加工、 治具・省力化機械の設計製作	対象リスク	大規模地震及び風水害、火災
被災シナリオ	<ul style="list-style-type: none">・工場は建屋一部破損・機械設備の破損及び故障・工具、治具の一部が破損・製品の一部が破損・通信機能の遮断・ライフラインの停止		
対策	<ul style="list-style-type: none">・損傷状況の迅速な確認と判断(自社修理、業者修理)・代行者による製造の再開・バックアップデータの保管(外付HDDとクラウドを活用)・水、食料の備蓄		

1. 事業の内容

弊社は、金属全般精密機械加工と、各種治具・省力化装置の製作をしています。機械加工・設計製作・顧客本位を柱に「対応・提案・相談力」でお客様に満足していただけるものづくりを心がけております。

2. BCP策定の概要

大規模な地震などの自然災害を想定し、従業員の安全確保と、顧客への供給責任を果たすことを最重要課題としてBCPの作成を行いました。

従業員の安否確認の方法の見直しや、新たに避難場所の設定、食料などの備蓄品の保管などを決まりました。

弊社は、製造拠点が1カ所であり、協力会社も近隣エリアが多いため、自社の早期復旧が必要不可欠となります。重要なデータは定期的にバックアップし、代行者の育成等事前対策や災害時の被害状況の迅速な把握・対応等具体的行動内容を明確にし実行する事で、早期普及を目指します。

3. BCPを実行するために

今後予測されている大規模災害に対して、危機感を持ち、備えることは重要です。BCPの見直しや社内教育・訓練を継続する事で、いざという時に生きるBCPを全員で作りに上げて行きたいと思えます。

4. BCP作成の効用

幸いにも、今まで大した被災経験の無い弊社ですが、今回BCP作成に取り組んだ事で、災害時のリスクや対策についてメンバーで考えることができ、それを社内全員で共有し、意識付けをすることが減災にも繋がるものと考えます。